

記事

[Hiroshi Sato](#) · 2021年9月9日 2m read

## RESTでクロスドメイン制約を回避する方法

これは [InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

%CSP.REST クラスを継承する REST 用ディスパッチクラスで REST を実装

して

いる場合

は、クロスドメイ

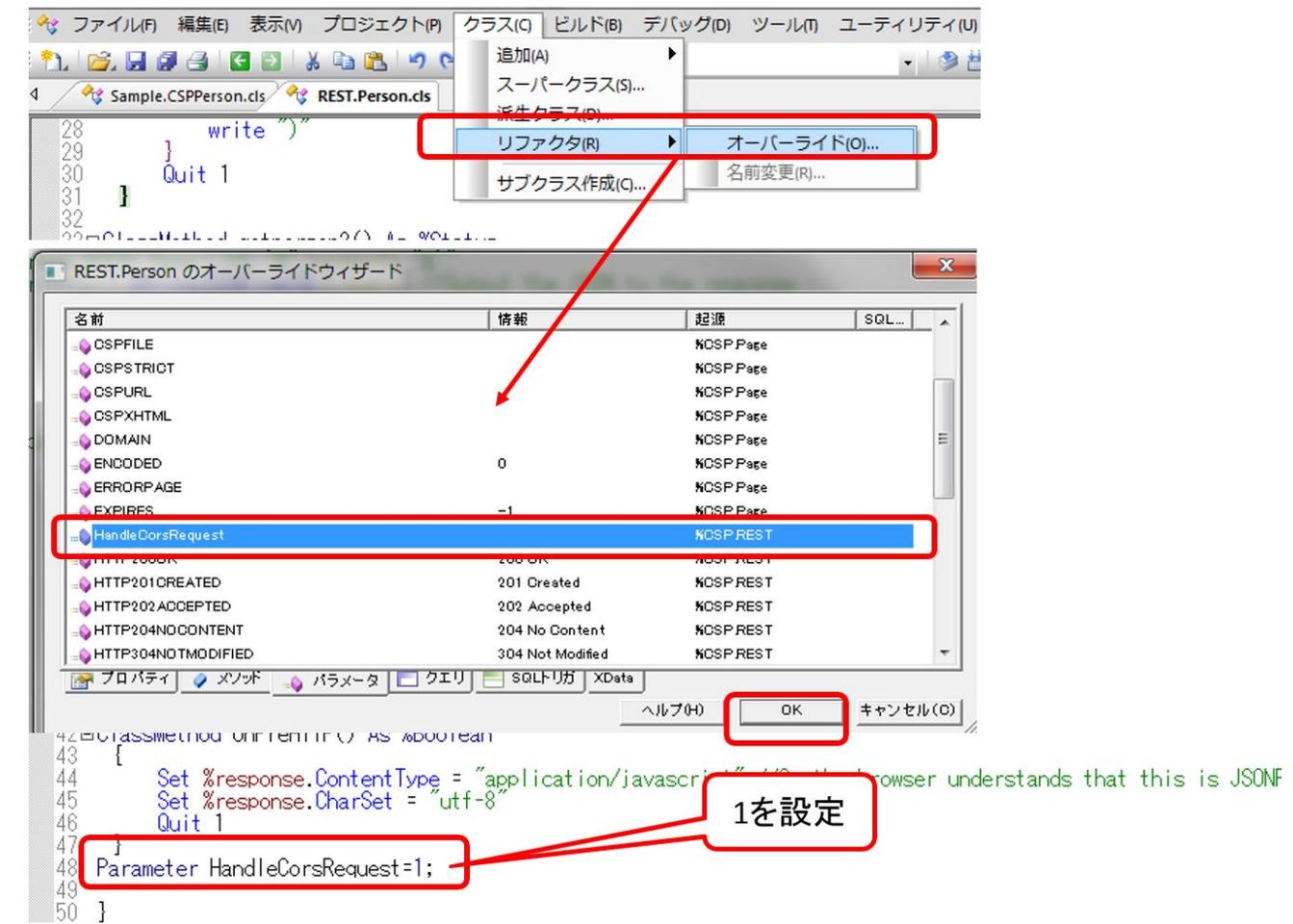
ン制約回避用に用意されたパラメータ HandleCorsRequest を利用します。

設定方法は以下の通りです。

REST 用ディスパッチクラスをスタジオで修正する場合は、  
[クラス]>[リファクタ]>[オーバーライド]を開き、[パラメータ]タブを選択  
> [HandleCorsRequest] を選択後OKボタンを押下します。

以下の定義が追加されるので、1を設定します。

```
Parameter HandleCorsRequest=1;
```



REST ディスパッチクラスを Atelier で修正する場合は、オーバーライドメニューの用意がないため、パラメータの定義を追加するか、%CSP.REST クラスを開き、HandleCorsRequest の定義をコピーし修正します。

パラメータ：HandleCorsRequest 他に、REST 用ディスパッチクラスに用意する URL マップ (URL に対応するメソッドのマップ定義) の Route 要素毎に Cors 属性を true に設定する方法でも回避できます。

メモ：Cors 属性はデフォルトでは false が設定されています。

XData UrlMap

```

{
<Routes>
<Route Url="/persons/:keyword" Method="GET" Call=
"REST.Person:getperson" Cors="true" />
<Route Url="/persons2/" Method="POST" Call="REST.Person:getperson2"/>
Routes>
}

```

設定詳細については以下ドキュメントをご参照ください。

## [CORS使用のためのRESTサービスの構成について【IRIS】](#)

### [CORS使用のためのRESTサービスの構成について](#)

コードサンプルについては、関連トピックをご参照ください。

[jQueryでデータをJSON形式で取得する方法](#)

[#REST API #セキュリティ #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health](#)

---

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/rest%E3%81%A7%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%82%B9%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E5%88%B6%E7%B4%84%E3%82%92%E5%9B%9E%E9%81%BF%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95>